

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-345992

(43)Date of publication of application : 14. 12. 2001

(51)Int. Cl.

H04N 1/00

G06F 13/00

(21)Application number : 2000-167199

(71)Applicant : MURATA MACH LTD

(22)Date of filing : 05. 06. 2000

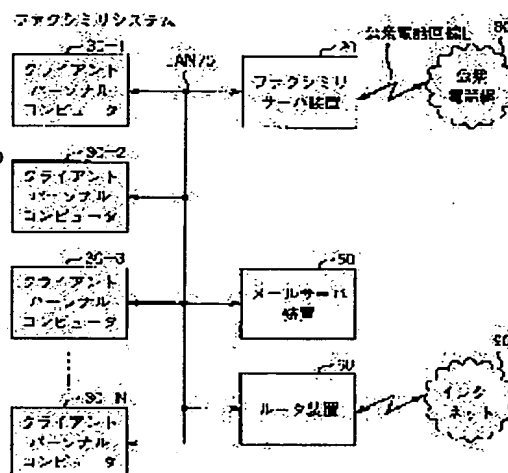
(72)Inventor : TANIMOTO YOSHIFUMI

(54) FACSIMILE EQUIPMENT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent a wrong operation with which each client PC can easily access a facsimile server device and a general user rewrites by mistake the internal set state of the facsimile server device.

SOLUTION: A facsimile server device 20 has a Web site function and a main control part 1 carries out plural HTTP tasks having different port numbers in accordance with the designation information given from a client personal computer 30 operated by every user. The device 20 contains a hard disk drive 9 which stores an HTTP task correspondence table 9b that defines the corresponding relation between the port number of each HTTP task and every user. Then the part 1 refers to the table 9b and carries out the HTTP task of port number corresponding to every user in accordance with the information that is specific to every user.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 17. 10. 2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 30. 04. 2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for
application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C) ; 1998, 2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-345992
(P2001-345992A)

(43) 公開日 平成13年12月14日 (2001. 12. 14)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード* (参考)
H 0 4 N 1/00	1 0 7	H 0 4 N 1/00	1 0 7 Z 5 C 0 6 2
G 0 6 F 13/00	5 4 7	G 0 6 F 13/00	5 4 7 V

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2000-167199(P2000-167199)

(22) 出願日 平成12年6月5日 (2000. 6. 5)

(71) 出願人 000006297

村田機械株式会社

京都府京都市南区吉祥院南落合町3番地

(72) 発明者 谷本 好史

京都府京都市伏見区竹田向代町136番地

村田機械株式会社本社工場内

(74) 代理人 100062144

弁理士 青山 稔 (外2名)

Fターム(参考) 5C062 AA14 AA25 AA30 AA35 AB11

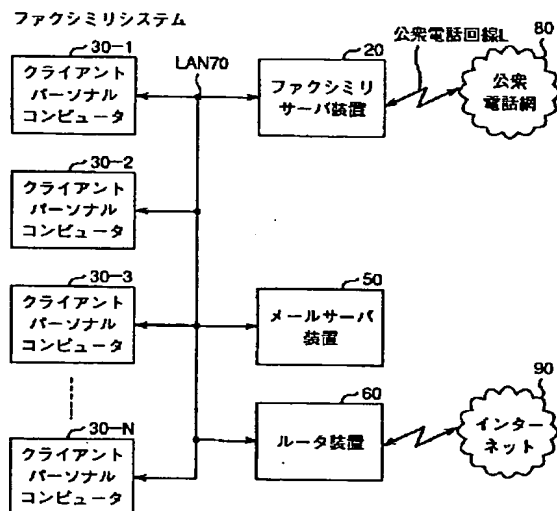
AB41 AB42 AF12 BA00

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【課題】 各クライアントPCからファクシミリサーバ装置に対して容易にアクセスでき、一般の利用者がファクシミリサーバ装置の内部設定状態を誤って書き換えたりするという誤操作を防止できる。

【解決手段】 ファクシミリサーバ装置20はウェブサーバ機能を有し、主制御部1は、各利用者が操作する各クライアントパーソナルコンピュータ30からの指示情報に基づいて、それぞれ異なるポート番号を有する複数のHTTPタスクを実行する。ファクシミリサーバ装置20は、各HTTPタスクのポート番号と各利用者との間の対応関係を定義するHTTPタスク対応テーブル9bを格納するハードディスクドライブ9を備える。主制御部1はHTTPタスク対応テーブル9bを参照して各利用者毎に固有の情報に基づいて各利用者に対応するポート番号のHTTPタスクを実行する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 各利用者が操作する各クライアント装置からの指示情報に基づいて、それぞれ異なるポート番号を有する複数のHTTPタスクを実行する制御手段と、各HTTPタスクのポート番号と各利用者との間の対応関係を定義する対応テーブルを格納する記憶手段とを備え、上記制御手段は、上記対応テーブルを参照して、各利用者毎に固有の情報に基づいて各利用者に対応するポート番号のHTTPタスクを実行することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 上記対応テーブルは上記各HTTPタスクのポート番号毎に優先順位を有し、上記制御手段は、上記対応テーブル内の優先順位に基づいて上記各HTTPタスクを実行することを特徴とする請求項1記載のファクシミリ装置。

【請求項3】 上記利用者が上記ファクシミリ装置の保守者であるとき、上記固有の情報は保守情報であり、上記利用者が上記ファクシミリ装置のユーザ管理者であるとき、上記固有の情報はユーザ管理情報であることを特徴とする請求項1又は2記載のファクシミリ装置。

【請求項4】 上記制御手段は、上記複数のHTTPタスクのうちの一部のHTTPタスクを実行するときに、各クライアント装置の利用者が入力する所定の認証情報に基づいて、各クライアント装置の利用者に対して認証を与える認証手段を備えたことを特徴とする請求項1乃至4のうちのいずれか1つに記載のファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、ウェブサーバ機能を有するファクシミリサーバ装置などのファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 例えば、公衆電話回線などの通信回線に接続されファクシミリの送受信機能を有するファクシミリサーバ装置と、パーソナルコンピュータなどのクライアント装置とがローカルエリアネットワーク（以下、LANという。）を介して接続してなるファクシミリシステムが実用化されている。この従来技術のファクシミリシステムでは、クライアント装置からファクシミリサーバ装置に対して画像データ及び送信先情報を含む送信指示信号を送信することにより、ファクシミリサーバ装置は、画像データを通信回線を介して送信先に送信する一方、ファクシミリサーバ装置が画像データを受信したときは、画像データを所定のクライアント装置に送信することにより、クライアント装置は画像データを受信する。

【0003】 また、従来技術において、ファクシミリサーバ装置にウェブ（WEB）サーバ機能を備えることにより、クライアントパーソナルコンピュータのブラウザ（例えばインターネットやLANなどの通信回線を経由

してWWWサーバ装置に格納されたデータを読み取って表示し又はデータ入力や設定、もしくは監視制御するための閲覧プログラムをいう。）から、ファクシミリサーバ装置の内部設定状態や稼動状態を参照したり、更新することができる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来技術のファクシミリサーバ装置においては、一般の利用者、保守管理者、特定の利用者等の利用者に応じて、ファクシミリサーバ装置に対してアクセスすることを制限する機能を有していなかったため、一般の利用者がファクシミリサーバ装置の内部設定状態を誤って書き換えたりするという誤操作が生じていた。

【0005】 本発明の目的は以上の問題点を解決し、各クライアントパーソナルコンピュータからファクシミリ装置又はファクシミリサーバ装置に対して容易にアクセスできるとともに、一般の利用者がファクシミリサーバ装置の内部設定状態を誤って書き換えたりするという誤操作を防止できるファクシミリサーバ装置などのファクシミリ装置を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明に係るファクシミリ装置は、各利用者が操作する各クライアント装置からの指示情報に基づいて、それぞれ異なるポート番号を有する複数のHTTPタスクを実行する制御手段と、各HTTPタスクのポート番号と各利用者との間の対応関係を定義する対応テーブルを格納する記憶手段とを備え、上記制御手段は、上記対応テーブルを参照して、各利用者毎に固有の情報に基づいて各利用者に対応するポート番号のHTTPタスクを実行することを特徴とする。

【0007】 また、上記ファクシミリ装置において、好ましくは、上記対応テーブルは上記各HTTPタスクのポート番号毎に優先順位を有し、上記制御手段は、上記対応テーブル内の優先順位に基づいて上記各HTTPタスクを実行することを特徴とする。

【0008】 さらに、上記ファクシミリ装置において、好ましくは、上記利用者が上記ファクシミリ装置の保守者であるとき、上記固有の情報は保守情報であり、上記利用者が上記ファクシミリ装置のユーザ管理者であるとき、上記固有の情報はユーザ管理情報であることを特徴とする。

【0009】 またさらに、上記ファクシミリ装置において、好ましくは、上記制御手段は、上記複数のHTTPタスクのうちの一部のHTTPタスクを実行するときに、各クライアント装置の利用者が入力する所定の認証情報に基づいて、各クライアント装置の利用者に対して認証を与える認証手段を備えたことを特徴とする。

【0010】

【発明の実施の形態】 以下、図面を参照して本発明に係る実施形態について説明する。

【0011】＜実施形態＞図1は、本発明に係る実施形態である、ウェブサーバ(WWWサーバともいう。)機能を有するファクシミリサーバ装置20を備えたファクシミリシステムの構成を示すブロック図である。ここで、ウェブサーバ機能とは、いわゆるホームページ用などの、例えばHTML言語などで記述されたデータに対して、クライアントパーソナルコンピュータ30-1乃至30-N(以下、総称して符号30を付す。)からアクセスして所定のHTTPタスク(HTTPサーバタスクともいう。)を実行する機能であり、HTTPタスクは、例えば、データベースのデータをクライアントパーソナルコンピュータ30-1乃至30-Nに転送して表示し、装置に対して内部設定状態を変更して設定するなどの所定の処理を実行するタスクを含む。この実施形態に係るファクシミリシステムは、複数N台のクライアントパーソナルコンピュータ(以下、図面などにおいて、クライアントPCと略記する。)30-1乃至30-Nと、公衆電話回線を介して公衆電話網80に接続されたファクシミリサーバ装置20と、メールサーバ装置50と、インターネット90に接続されたルータ装置60とがLAN70を介して接続されて構成される。

【0012】この実施形態に係るファクシミリサーバ装置20はウェブサーバ機能を有することを特徴とし、ファクシミリサーバ装置20の主制御部1は、各利用者が操作する各クライアントパーソナルコンピュータ30からの指示情報に基づいて、それぞれ異なるポート番号を有する複数のHTTPタスクを実行するが、ファクシミリサーバ装置20は、各HTTPタスクのポート番号と各利用者との間の対応関係を定義するHTTPタスク対応テーブル9b(図4に一例を示す。)を格納するハードディスクドライブ9を備え、主制御部1は、上記HTTPタスク対応テーブル9bを参照して、各利用者毎に固有の情報に基づいて各利用者に対応するポート番号のHTTPタスクを実行することを特徴としている。

【0013】また、この実施形態では、ハードディスクドライブ9内のHTTPタスク対応テーブル9bは、図4に示すように、各HTTPタスクのポート番号毎に優先順位を有し、ファクシミリサーバ装置20の主制御部1は、HTTPタスク対応テーブル9b内の優先順位に基づいて各HTTPタスクを実行することを特徴としている。さらに、この実施形態では、上記利用者が上記ファクシミリ装置の保守者であるとき、上記固有の情報は保守情報であり、上記利用者が上記ファクシミリ装置のユーザ管理者であるとき、上記固有の情報はユーザ管理情報である。

【0014】またさらに、ファクシミリサーバ装置20の主制御部1は、複数のHTTPタスクのうちの一部である、図4のHTTPタスクT2乃至T5に示すHTTPタスクを実行するときに、各クライアントパーソナルコンピュータ30の利用者が入力するID(識別情報)

とパスワードを含む認証情報に基づいて、各クライアントパーソナルコンピュータ30の利用者に対して認証を与える認証手段を備える。

【0015】図1において、メールサーバ装置50は、相手先のメールサーバ装置(図示せず。)からインターネット90及びLAN70を介して受信し、受信した電子メールがMIME形式で符号化された画像データを含むときは、画像データを含む電子メールを保持する。このとき、画像データを含む電子メールはファクシミリサーバ装置20に転送されて復号処理を行った後、画像データはファクシミリサーバ装置20の画像メモリ8で保持される。

【0016】図2は、図1のクライアントパーソナルコンピュータ30の構成を示すブロック図である。図2において、クライアントパーソナルコンピュータ30は、公知のパーソナルコンピュータであって、画像データや文字データの生成や記録などの処理を実行する。本実施形態においては、クライアントパーソナルコンピュータ30は、一例として、ファクシミリの画像データを送信し又は受信する端末装置として用いられる。主制御部101は具体的にはCPUで構成されており、バス113を介して以下のハードウェア各部と接続されていてそれらを制御するほか、後述する種々のソフトウェアの機能を実行する。このクライアントパーソナルコンピュータ30において、画像読取部102及び画像記録部103はオプションで設けられ、画像読取部102は、CCD等を利用したスキャナで原稿を読み取り、白黒2値に変換したドットイメージデータを出力する。画像記録部103は例えば電子写真方式等のプリンタ装置であり、他のファクシミリサーバ装置からファクシミリ通信により受信したイメージデータをハードコピーとしてプリントアウトして記録したり、文字データを記録する。表示部104は、液晶表示装置(LCD)又はCRTディスプレイ等の表示装置であり、当該クライアントパーソナルコンピュータ30の動作状態を表示したり、送信すべき原稿のイメージデータ、及び受信したイメージデータの表示を行う。操作部105は、例えばキーボードであり、文字データや指示コマンドを入力するためのものである。

【0017】ROM106は、当該クライアントパーソナルコンピュータ30の動作に必要であって主制御部101によって実行される種々のソフトウェアのプログラムを予め格納する。また、RAM107は、SRAM、DRAM、SDRAM等で構成され、主制御部101のワーキングエリアとして使用されてプログラムの実行時に発生する一時的なデータを記憶する。

【0018】さらに、ハードディスクドライブ108は、記録媒体を内蔵する記憶装置であり、実行するアプリケーションプログラムや画像メモリを格納する。例えばWWWウェブのデータをアクセスするためのブラウザ

プログラムは当該ハードディスクドライブ108内のブラウザプログラム領域108aにおいて格納される。当該ブラウザプログラム領域108a内のブラウザプログラムを操作部105から指示して実行することにより、LAN70を介してファクシミリサーバ装置20内のHTTPタスクを実行し、もしくは、ルータ装置60及びインターネット90を介して別のところのウェブサーバ装置（図示せず。）にアクセスして操作部105を用いて操作することにより必要な情報やデータをダウンロードして例えばハードディスクドライブ108に格納する。なお、LANインターフェース112は、LAN70に接続され、LAN70からの信号やデータを受信する一方、LAN70に対して信号やデータを送信して信号変換やプロトコル変換などのインターフェース処理を実行する。

【0019】図3は、図1のファクシミリサーバ装置20の構成を示すブロック図である。図3において、ファクシミリサーバ装置20は、従来のG3方式等のファクシミリ通信機能に加えてウェブサーバ機能を備えている。主制御部1は具体的にはCPUで構成されており、バス13を介して以下のハードウェア各部と接続されていてそれらを制御するほか、後述する種々のソフトウェアの機能を実行する。

【0020】画像読取部2は、CCD等を利用したスキャナで原稿を読み取り、白黒2値に変換したドットイメージデータを出力する。画像記録部3は例えば電子写真方式等のプリンタ装置であり、他のファクシミリ装置又はファクシミリ装置からファクシミリ通信により受信したイメージデータをハードコピーとしてプリントアウトして記録したり、文字データを記録する。

【0021】表示部4は、液晶表示装置（LCD）又はCRTディスプレイ等の表示装置であり、当該ファクシミリサーバ装置20の動作状態を表示したり、送信すべき原稿のイメージデータ、及び受信したイメージデータの表示を行う。操作部5は、当該ファクシミリサーバ装置20を操作するために必要な文字キー、ダイヤル用テンキー、短縮ダイヤルキー、ワンタッチダイヤルキー、及び各種のファンクションキー等を備える。なお、上述の表示部4をタッチパネル方式とすることにより、この操作部5の各種キーの一部又は全部を代用するように構成してもよい。

【0022】ROM6は、当該ファクシミリサーバ装置20の動作に必要であって主制御部1によって実行される種々のソフトウェアのプログラムを予め格納する。RAM7は、SRAM、DRAM、SDRAM等で構成され、主制御部1のワーキングエリアとして使用されてプログラムの実行時に発生する一時的なデータを記憶する。なお、RAM7としてフラッシュメモリを使用した場合には、停電、装置の移動等のために電源が遮断された場合にもそのデータの内容が失われない。画像メモリ

8はDRAM等で構成され、送信すべきイメージデータ又は受信したイメージデータを記憶する。

【0023】ハードディスクドライブ9は、記録媒体を内蔵する記憶装置であり、ウェブサーバのためのHTTPタスクのプログラムを格納するプログラム領域9aと、図4に一例を示し詳細後述するHTTPタスク対応テーブル9bとを含む。

【0024】ファックスモデム10は、公衆電話回線Lに接続され、通常のファクシミリ通信用のファックスモデムの機能を有するモデムである。NCU（ネットワーク制御回路：Network Control Unit）11はアナログの公衆電話回線Lの直流ループなどの閉結及び開放の動作を行いつつ自動ダイヤル機能を有するハードウェア回路であり、必要に応じてファックスモデム10を公衆電話回線Lに接続する。ここで、NCU11は、発信電話番号通知サービスにおけるID受信端末起動信号、通常の電話呼出信号の検出を行うとともに、必要に応じて発信電話番号通知サービスにおける1次応答信号及び2次応答信号を発信することができる。なお、NCU11を所定のターミナルアダプタ及びDSU（加入者線終端装置：Digital Service Unit）を介して、ベースバンド伝送方式のデジタル回線（例えば、ISDN回線）に接続するようにしてもよい。

【0025】さらに、LANインターフェース12は、LAN70に接続され、LAN70からの信号やデータを受信する一方、LAN70に対して信号やデータを送信して信号変換やプロトコル変換などのインターフェース処理を実行する。

【0026】以上のように構成されたファクシミリサーバ装置20は、通常のG3方式等のウェブサーバ機能を有している。ファクシミリ通信機能において、各クライアントパーソナルコンピュータ30-1乃至30-Nから転送されたドットイメージデータ、又は画像読取部2により読み取られたドットイメージデータはファクシミリ通信の規格で定められているMH、MR、MMR等の符号化方式に従ってソフトウェアにより符号化された後、相手先のファクシミリ装置に送信される一方、逆に相手先のファクシミリ装置から受信した符号化データもソフトウェアによりイメージデータに復号化された後、画像メモリ8に格納され、必要に応じて画像記録部3でプリントされる。

【0027】本実施形態において、ファクシミリの符号化及び復号化の処理をファクシミリサーバ装置20で実行しているが、クライアントパーソナルコンピュータ30-1乃至30-Nがファクシミリの符号化及び復号化の処理のためのプログラムを備え、ファクシミリの符号化及び復号化の処理を各クライアントパーソナルコンピュータ30-1乃至30-Nで実行してもよい。その場合、LAN70での伝送される画像データや画像メモリ8で格納される画像データは符号化された画像データと

なる。この符号化された画像データは、ファクシミリの符号化画像データに限らず、GIF、JPEG、PDFなどの所定の画像データの形式であってもよく、ファクシミリサーバ装置20においてこれらの形式の画像データをファクシミリの符号化形式に変換すればよい。

【0028】図4は、図3のHTTPタスク対応テーブル9bの一例を示す図である。図4に示すように、HTTPタスク毎に、ポート番号と、用途と、認証の有無と、URL (Uniform Resource Locators: HTTPアドレスをいう。)と、HTTPタスクを実行するときの優先順位とを含む。図4において、HTTPタスクT1はすべてのクライアントパーソナルコンピュータ30の利用者に対して公開された掲示板などのホームページに関する一般用タスクであり、HTTPタスクT3及び4はそれぞれ、予め決められた利用者個人に対してアクセスが許可されたクライアント専用タスクである。また、HTTPタスクT2は、ファクシミリサーバ装置20を保守するサービスマンなどの保守者のための保守専用タスクであり、当該タスクで取り扱う固有の情報は、ファクシミリサーバ装置10の保守情報(例えば、機器情報、装置内部設定情報、短縮ダイヤル、ユーザ情報、ID情報、TTI情報、認証情報など)である。さらに、HTTPタスクT5は、ファクシミリサーバ装置20を管理するユーザの管理者のためのユーザ管理専用タスクであり、当該タスクで取り扱う固有の情報は、ファクシミリサーバ装置10のユーザ管理情報(例えば、送信予約レポート、通信結果(完了又は不達)を含む通信管理レポート、部門別使用管理レポートなど)である。

【0029】図5は、本実施形態におけるHTTPタスクにおいてファクシミリサーバ装置20と各クライアントパーソナルコンピュータ30-1乃至30-4との間の関係を示すブロック図である。図5から明らかなように、HTTPタスクT1はLAN70内のすべてのクライアントパーソナルコンピュータ30からアクセスすることができるが、HTTPタスクT2乃至T5は、IDとパスワードの認証を必要とし、各HTTPタスクT2乃至T5はそれぞれ各クライアントパーソナルコンピュータ30-2乃至30-5の利用者のみしかアクセスできないようにセキュリティが保持されている。従って、一般の利用者がファクシミリサーバ装置の内部設定状態を誤って書き換えたりするという誤操作を防止することができる。

【0030】上記ファクシミリ装置において、図4のHTTPタスク対応テーブル9bは上記各HTTPタスクのポート番号毎に優先順位を有し、ファクシミリサーバ装置20の主制御部1は、HTTPタスク対応テーブル9b内の優先順位に基づいて上記各HTTPタスクを実行する。このマルチタスクとは、OSの機能の1つで、複数のプログラムを並行して実行させることをいい、主制御部1は、ある一瞬を取ってみると同時に1つのタスク

しか実行できない。そのため、複数のプログラムを動かすには、特定のタイミングで、動作するタスクを次々と切り替えていくが必要になる。この切り替えの時間が十分短ければ、ユーザからは複数のタスクが同時に動いているように見える。この実施形態では、主制御部1は、HTTPタスク対応テーブル9b内の優先順位に基づいて1つのHTTPタスクを実行しているときは、それより優先順位の低いHTTPタスクの実行しないように制御する。これにより、装置故障などの緊急時に、優先順位が低い一般の処理に先立って、装置修理や装置立ち上げなどの緊急対処処理を確実に実行することができる。

【0031】さらに、各クライアントパーソナルコンピュータ30からファクシミリサーバ装置20のHTTPタスクを実行するときの動作手順について以下に説明する。この手順では公知のHTTP (Hypertext Transfer Protocol) を用いる。

【0032】(1) クライアントパーソナルコンピュータ30の利用者は、ブラウザを起動し、アドレスとしてHTTPアドレスを指定する。このとき、本実施形態において、各専用のタスクであるHTTPタスクT2乃至T5では、URLでポート番号を指定する。これにตอบสนองして、クライアントパーソナルコンピュータ30は、その指定されたHTTPアドレスのサーバ装置を検索し、HTMLソースを要求する。この実施形態では、サーバ装置はファクシミリサーバ装置20である。

(2) これにตอบสนองして、ファクシミリサーバ装置20は、指定されたURLから、HTTPタスク対応テーブル9bを参照して、HTTPタスクを実行する。例えば、一般用のホームページであれば、ホームページのHTMLファイルをハードディスクメモリ9のプログラム領域9aからRAM7に読み込んだ後、要求したクライアントパーソナルコンピュータ30に転送される。なお、図4のHTTPタスクT2乃至T5においては、HTTPタスクの実行の前に、IDとパスワードの認証処理を実行してOKであるときのみHTTPタスクを実行する。

(3) クライアントパーソナルコンピュータ30は、受信したHTMLソースを解析して表示部104に表示し、画像やデータなどのリンクがされていれば、画像やデータの転送要求をファクシミリサーバ装置20に送信する。

(4) 転送要求にตอบสนองして、ファクシミリサーバ装置20は、要求に応じた情報をクライアントパーソナルコンピュータ30に転送して、クライアントパーソナルコンピュータ30からの要求待ちとなる。

(5) 一方、クライアントパーソナルコンピュータ30では、転送された画像部分が表示部104に表示され、使用者が画面を参照している間、クライアントパーソナルコンピュータ30と、ウェブサーバ装置であるファク

シミリサーバ装置20との間で通信のやりとりはない。

【0033】以上説明したように、本実施形態によれば、ファクシミリサーバ装置20がウェブサーバ機能を有し、ファクシミリサーバ装置20の主制御部1は、各利用者が操作する各クライアントパーソナルコンピュータ30からの指示情報に基づいて、それぞれ異なるポート番号を有する複数のHTTPタスクを実行するが、ファクシミリサーバ装置20は、各HTTPタスクのポート番号と各利用者との間の対応関係を定義するHTTPタスク対応テーブル9bを格納するハードディスクドライブ9を備え、主制御部1は、上記HTTPタスク対応テーブル9bを参照して、各利用者毎に固有の情報に基づいて各利用者に対応するポート番号のHTTPタスクを実行する。従って、複数のポートを使用することにより、利用者からはURLでポート番号を指定するだけで、利用者に応じたコンテンツを簡単な操作で利用できる。

【0034】また、本実施形態によれば、ハードディスクドライブ9内のHTTPタスク対応テーブル9bは、図4に示すように、各HTTPタスクのポート番号毎に優先順位を有し、ファクシミリサーバ装置20の主制御部1は、HTTPタスク対応テーブル9b内の優先順位に基づいて各HTTPタスクを実行する。従って、装置故障などの緊急時に、優先順位が低い一般の処理に先立って、装置修理や装置立ち上げなどの緊急対処処理を確実に実行することができる。

【0035】さらに、本実施形態によれば、利用者がファクシミリサーバ装置20の保守者であるとき、上記固有の情報は保守情報であり、上記利用者が上記ファクシミリサーバ装置20のユーザ管理者であるとき、上記固有の情報はユーザ管理情報である。従って、保守者やユーザ管理者だけが、保守やユーザ管理に必要な情報を参照することができる。他の利用者は参照できないので、利用者からの誤ったアクセスを防止できる。

【0036】またさらに、ファクシミリサーバ装置20の主制御部1は、複数のHTTPタスクのうちの一部である、図4のHTTPタスクT2乃至T5に示すHTTPタスクを実行するときに、各クライアントパーソナルコンピュータ30の利用者が入力するID（識別情報）とパスワードを含む認証情報に基づいて、各クライアントパーソナルコンピュータ30の利用者に対して認証を与える認証手段を備える。従って、当該ウェブサーバ機能におけるセキュリティを向上させることができ、利用者からの誤ったアクセスを防止できる。

【0037】＜変形例＞以上の実施形態においては、ファクシミリサーバ装置20の例について述べているが、本発明はこれに限らず、通常のファクシミリ装置にLANボードを挿入した装置であってもよいし、公衆電話網又は公衆デジタル回線網などの公衆網に接続された、例えば電話機、データ通信装置などを含む通信端末装置に

適用することができる。

【0038】

【発明の効果】以上詳述したように本発明に係るファクシミリ装置によれば、各利用者が操作する各クライアント装置からの指示情報に基づいて、それぞれ異なるポート番号を有する複数のHTTPタスクを実行する制御手段と、各HTTPタスクのポート番号と各利用者との間の対応関係を定義する対応テーブルを格納する記憶手段とを備え、上記制御手段は、上記対応テーブルを参照して、各利用者毎に固有の情報に基づいて各利用者に対応するポート番号のHTTPタスクを実行する。従って、複数のポートを使用することにより、利用者からはURLでポート番号を指定するだけで、利用者に応じたコンテンツを簡単な操作で利用できる。

【0039】また、上記ファクシミリ装置において、好ましくは、上記対応テーブルは上記各HTTPタスクのポート番号毎に優先順位を有し、上記制御手段は、上記対応テーブル内の優先順位に基づいて上記各HTTPタスクを実行する。従って、装置故障などの緊急時に、優先順位が低い一般の処理に先立って、装置修理や装置立ち上げなどの緊急対処処理を確実に実行することができる。

【0040】さらに、上記ファクシミリ装置において、好ましくは、上記利用者が上記ファクシミリ装置の保守者であるとき、上記固有の情報は保守情報であり、上記利用者が上記ファクシミリ装置のユーザ管理者であるとき、上記固有の情報はユーザ管理情報である。従って、保守者やユーザ管理者だけが、保守やユーザ管理に必要な情報を参照することができる。他の利用者は参照できないので、利用者からの誤ったアクセスを防止できる。

【0041】またさらに、上記ファクシミリ装置において、好ましくは、上記制御手段は、上記複数のHTTPタスクのうちの一部のHTTPタスクを実行するときに、各クライアント装置の利用者が入力する所定の認証情報に基づいて、各クライアント装置の利用者に対して認証を与える認証手段を備える。従って、当該ウェブサーバ機能におけるセキュリティを向上させることができ、利用者からの誤ったアクセスを防止できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係る実施形態である、ウェブサーバ機能を有するファクシミリサーバ装置20を備えたファクシミリシステムの構成を示すブロック図である。

【図2】 図1のクライアントパーソナルコンピュータ30の構成を示すブロック図である。

【図3】 図1のファクシミリサーバ装置20の構成を示すブロック図である。

【図4】 図3のHTTPタスク対応テーブル9bの一例を示す図である。

【図5】 本実施形態におけるHTTPタスクにおいてファクシミリサーバ装置20と各クライアントパーソナ

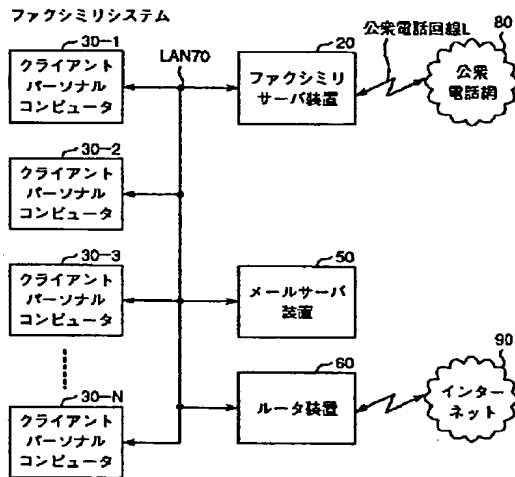
ルコンピュータ30-1乃至30-4との間の関係を示すブロック図である。

【符号の説明】

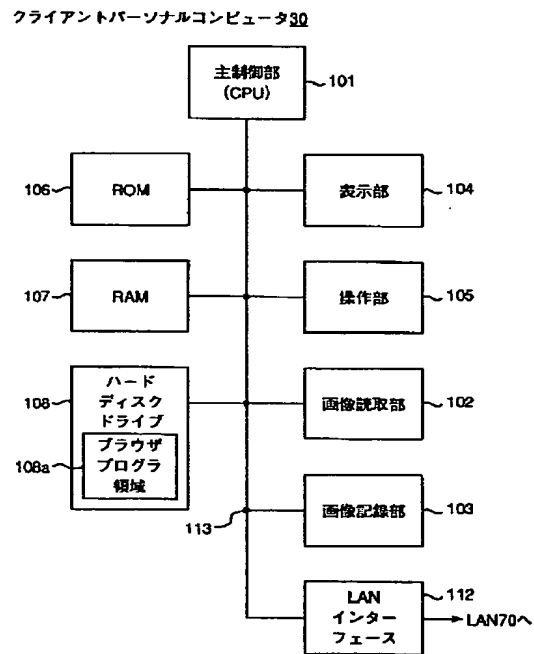
- 1…主制御部、
2…画像読取部、
3…画像記録部、
6…ROM、
7…RAM、
8…画像メモリ、
9…ハードディスクドライブ、
9a…プログラム領域、
9b…HTTPタスク対応テーブル、
10…ファックスモデム、

- * 11…NCU、
12…LANインターフェース、
13…バス、
20…ファクシミリサーバ装置、
30、30-1乃至30-N…クライアントパーソナルコンピュータ（クライアントPC）、
70…ローカルエリアネットワーク（LAN）、
101…主制御部、
106…ROM、
107…RAM、
108…ハードディスクドライブ、
108a…ブラウザプログラム領域、
* 112…LANインターフェース。

【図1】



【図2】



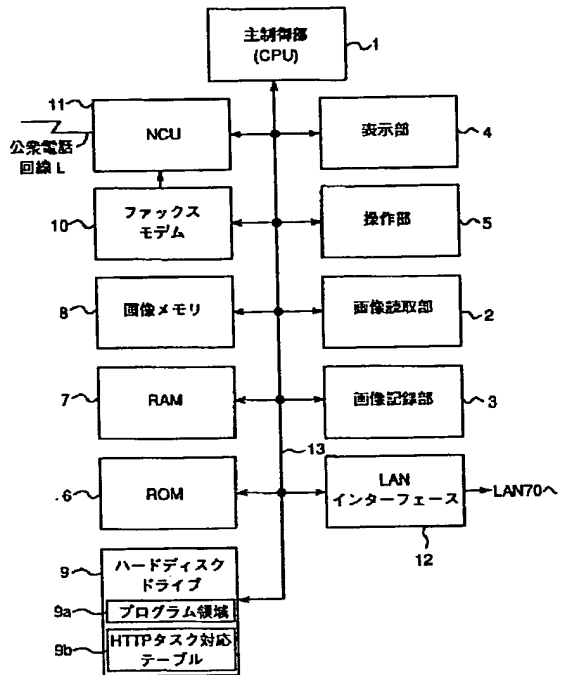
【図4】

HTTPタスク対応テーブル9b

タスク番号	ポート番号	用途	認証	URL	優先順位
HTTPタスクT1	80	一般用	なし	http://xxxxxx/	3
HTTPタスクT2	5000	保守専用	あり	http://xxxxxx:5000/	1
HTTPタスクT3	5001	クライアントA専用	あり	http://xxxxxx:5001/	4
HTTPタスクT4	5002	クライアントB専用	あり	http://xxxxxx:5002/	4
HTTPタスクT5	5003	ユーザ管理専用	あり	http://xxxxxx:5003/	2

【図3】

ファクシミリサーバ装置 20



【図5】

ファクシミリサーバ装置 20

